

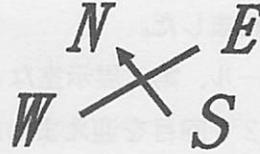
藤沢

2015年12月1日

第259号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット



主
な
記
事

- ・ふじさわ環境フェア開催
- ・BBQ「試行」会場の変更要望と回答
- ・「被ばく問題を見つめ直す」学習会
- ・NO2一斉測定結果(6月)・放射能測定値

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / FAX 0466-87-4922

「低炭素の経済発展をめざそう」

—COP21 に応えて分散型メガソーラーの長期ビジョンを—

11月13～14日に「市民・地域共同発電所全国フォーラム 小田原大会」に会員と共に参加した。地元、鈴廣の鈴木梯介社長は講演で、なぜ「かまぼこ屋」がエネルギーを考えることになったのか。それは、2011年3月11日直後に、日本商工会議所青年部以来の気仙沼の友人を支援に始まり、その時の体験から顔の見える関係の重要性を実感した。2013年3月に「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク」を立ち上げた。今年完成した新社屋は、井戸水を利用した夏の冷房節約と冬の暖房節約、太陽熱給湯、太陽光による全館照明、ソーラー発電など、再エネをフルに活用しているとのことでした。

パネルディスカッションでは、まず小田原「ほうとくエネルギー株式会社」の志澤氏は、地元の多数の中小企業から協力を受け市長の応援も得て山間にメガソーラーを作った。次に徳島地域エネルギーから豊岡さんの話は寄付のお礼に特産品を送る形のソーラー開発、水路の補修に合わせて小水力発電、チップボイラーなど3人で始めて今では15人の専門集団(年商8億円)となり活動は鳴門まで及び村営風車も計画中とのこと。パルシステム神奈川ゆめコープの吉中さんから29万人の会員数を生かした再エネ開発の話がありました(永嶋文雄)。

11月30日から始まったCOP21では「人類の生存は、この会議での決断にかかっている」との共通理解が深まりそうです。潘基文国連事務総長が会合の冒頭で、地球温暖化抑止のために、各国首脳に「優柔不断や中途半端は認められない」と求めました。各国の取り組みでは、150国以上が自主的な削減目標を提出しています。主なところではアメリカ:25年に26～28%削減、中国:30年までに減少に転じる、EU:30年に40%削減、ロシア:30年に25～30%減、インド:30年までに国内総生産当たりの排出量を33～35%減、インドのモディ首相は「国際ソーラー連合」を提唱しています。日本:30年に26%減(13年比)、これは90年比にして18%減にしかありません(これでいいのでしょうか?)。これらの目標を合計しても、気温上昇が3℃に達する恐れがあります。私たちは政策決定者(国・県・市町村)に「世界の気温上昇を2℃未満に抑える目標に見合った行動を」、「低炭素の経済発展をめざそう」と求めようではありませんか!

藤沢市はCO2削減40%(90年比)を22年までに達成することを決定しています。人口40万都市でこれだけの野心的な目標を掲げているのは、EU以上です。EUはさらに、50年までに80～95%削減(90年比)を表明し、長期ビジョンを持っています。私たちも多くの市民の皆さんと共に「COP21」を受けて、長期ビジョンのある「低炭素の経済発展をめざす都市藤沢」に向けて前進することを期待して止みません。

(地産地消エネルギー藤沢市民の会代表 宮地 俊作)



湘南台駅の地下広場のXマスツリー

2015 ふじさわ環境フェア開催

11月21日(土)ふじさわ環境フェアが穏やかな晴天に恵まれて行われました。

市民会館の小ホール、第1展示室などで、恒例となったフェアは今年20回目を迎えました。

展示会場や前庭イベントではクイズラリーに参加した小学生や親子で賑わっていました。それぞれ賞品をゲットしたり、展示ブースからパンフやプレゼントをもらったり、クイズの前では回答を考えてうなずく姿もあり、もの知りになったことでしょう。

藤沢エコネットでは学習会の内容を展示し、海の放射能汚染についてクイズを出題し「海の魚と淡水魚ではどちらが放射能の数値が高いでしょう」との質問、回答は淡水魚ですが展示を見て考えていました。空気の汚れ、ぜん息の患者数を学校別にしたグラフでは親たちが真剣にみていました。

第2展示室では自然保護のブースにリサイクル品の工作やワークショップがあり、屋外では食べ物のブース、トイレ紙をゲームでゲットもありました。

午後は荻原健司さん(オリンピック金メダリスト)の講演があり、雪の質や温暖化による競技大会での人工雪だったことなどを話され、最後にジャンケンをし勝った人が荻原さんの色紙を貰いました。

毎年参加者がもっと多くなると思います、入場者がイマイチという感じで20周年にしては少々残念ですが、参加者は楽しめました。

原発訴訟の講演は海渡弁護士により会議室で放射能測定器運営協議会主催で行われ50人ほどが参加していました。



荻原健司さんとジャンケンで色紙をゲット！

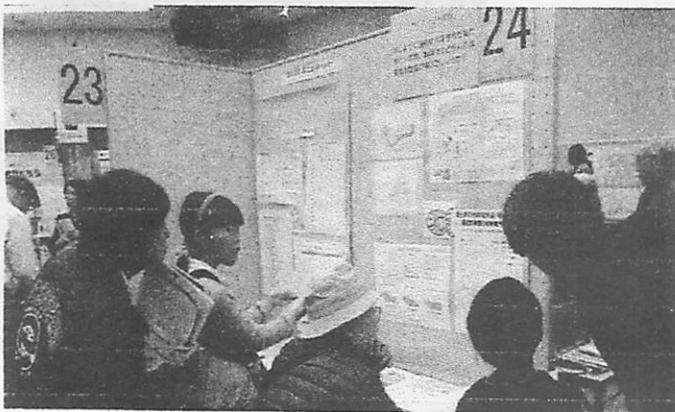
きれいな空気と健康を～市民一斉測定結果

藤沢の空気を考える会(代表 澤野井道子)は、6月のかながわ一斉測定のNO2結果を発表しました。平均0.029ppmで、環境基準(0.04~0.06ppm以下)をクリアしています。しかし子ども達の喘息は増加傾向にあります(ニュース7月号参照)。その理由の一つは、1978年に環境基準が改悪され、0.02ppm以下ではなくなったことです。6月結果は旧環境基準を満たしていません。もっと排ガス対策を強化しなければ、健康は保たれません。最近PM2.5など、より小さい微小粒子が肺の深くまで吸い込まれるなど健康が危うくなっています。

(青柳節子)

藤沢市地区別NO2測定結果(2015年6月)

	件数	道路沿	件数	非道路沿	平均ppm
1 片瀬	6	0.023	10	0.02	0.021
2 鶴沼	9	0.038	7	0.012	0.027
3 辻堂	8	0.049	1	0.014	0.045
4 村岡	12	0.036	15	0.022	0.028
5 藤沢	9	0.039	3	0.025	0.035
6 明治	7	0.090	3	0.019	0.069
7 善行	3	0.013	0		0.013
8 湘南大庭	12	0.032	4	0.012	0.027
9 六会	6	0.012	4	0.014	0.013
10 湘南台	12	0.022	11	0.018	0.002
11 遠藤	0		9	0.021	0.021
12 長後	0		0		
13 御所見	8	0.051	9	0.012	0.031
全地域(平均)	92	0.038	76	0.018	0.029



小学生が真剣に質問にとり組んでいました

藤沢市長 鈴木恒夫様

平成28年度 BBQの「試行」会場の
変更についての要望（要旨）2015.11.10

標記の件について、平成27年度のシルバーウィークにおいて、地元自治会、自然関係団体など周囲の反対を押し切って、BBQの「試行」が行われました。平成28年度に2回目の「試行」を行うよう内部検討が行われていると聞きました。

「試行」の会場として、相変わらず引地川親水公園が予定されているようです。野外活動のひとつとして、市民の要望に添えたいとするBBQの「試行」ですから会場については自然度の高い親水公園に固執することなく、現六会市民センター仮庁舎周辺でも可能と思います。親水公園利用者が一番に懸念している駐車場も、仮庁舎周辺には十分に余裕があり、親水公園周辺の交通安全や公園利用者の妨げにもなりません。

さらに、仮庁舎には上下水道も完備しておりますので、「試行」事業費用の節約が可能です。担当部局に会場のあり方についての再検討の指導を要望します。（親水公園ファンクラブ代表 袖岡三津男）

市からの回答

袖岡三津男様

11月11日にご要望をいただいた平成28年度 BBQの「試行」会場変更についての要望にお答えします。

本年9月に引地川親水公園でのバーベキューにつきましては、市民からの実施要望も踏まえ家族の団欒やグループの親睦を図ることなど、新たな公園の利用方法の一つとして試行いたしました。

ご提案の、六会市民センター仮庁舎周辺での実施については、（仮称）天神スポーツ広場の整備事業が、今年度から事業に着手しておりますことから、ご提案に沿うことは困難と考えております。

今回の試行では、心配されたマナーやゴミ等について問題なく実施ができたと考えています。引地川親水公園でのバーベキュー実施を望まれる方がいる一方で、心配や反対される方もいらっしゃいますので、ご意見については十分配慮する必要があると考えております。試行の結果をふまえ、来年度に試行すべきかどうかについては、現在検討をしております。

藤沢市公園課（11月29日メールにて回答）

【署名のご協力ありがとうございました 袖岡】

被ばく問題を根本から見つめ直す
映画と講演を終えて

11月3日、日本大学生物資源科学部と共催で映画と監督による講演を開催しました。開催後のアンケートからは、映画「ヒロシマ・ナガサキ 核戦争のもたらすもの」を観た参加者の衝撃が伝わって来ます。

この映画は、1979年に岩波書店から刊行された「広島・長崎の原爆災害」という報告書の映画版として1982年に制作されました。制作は岩波映画製作所ですが、企画は広島市と長崎市です。今年是被ばく70年。原爆投下後35年経って制作された映画を、そのまた35年後に上映したということになります。

東電福島原発事故がなければ、私がこの映画の上映を思い付く事はなかったでしょう。原発事故が起こってから、市民も科学者もICRPの線量限度で放射線防護を考え始めていました。原発事故後すぐにチェルノブイリ原発事故後に何が起こったのかをネット上で検索し続けておおまかなことを把握していた私は、ICRPの線量限度に違和感を覚えました。

チェルノブイリ事故被害の大きさについては、公式見解と実態に大きな差があります。チェルノブイリ事故の後、ECRR（欧州放射線リスク委員会）は線量限度を0.1ミリシーベルトと主張し、ドイツ放射線防護協会は核施設周辺での許容量を0.3ミリシーベルトとしていました。

チェルノブイリ事故を経験したドイツが線量限度を独自に定めたり、ECRRが0.1ミリシーベルトまで引き下げるべきだと主張したりしているのは、それなりの根拠に基づいてのことです。

一方、ICRPの公衆被ばく線量：年間1ミリシーベルトという線量限度は広島・長崎のデータを基にして決められたものでした。広島・長崎の公式データに多くのウソがあることは、私には常識でした。

私は、ウソのデータに基づいたICRPの防護基準を採用することに恐ろしさを感じました。このままでは多くの子どもたちに健康被害が起こると考え、ICRPの線量限度年間1ミリシーベルトで避難の権利を求めることに反対していました。

けれど、そのことを共有できる人はネット上にはおられましたが、周りには誰一人いませんでした。

映画を上映し、映画を監督した早川正美氏に講演を依頼し、広島・長崎のデータがどれほど隠蔽されたか

（次ページに続く）

(前ページからのつづき)

がわかるように「参考資料」を出して、私が心配していることをそれなりに伝えようとしたのですが、参加された皆さまにそこまでお話する時間が持てなかったのが心残りです。

ICRPの線量限度で1ミリシーベルトという数値が出されると、それくらいなら大丈夫なのだろうと考えがちですが、そんなことはありません。

1ミリシーベルト以下の地域でもウクライナやベラルーシでは健康な子どもがほとんどいない地区があります。福島県内や関東のホットスポットに限らず、低線量汚染地帯からも汚染のない所へ避難することをおすすめします。原発事故は今も継続中です。

(須藤百合子)

ホームページが新しくなりました
<http://econet2015.sakura.ne.jp>

環境問題について興味がありましたのでお手伝いしようと思い、ホームページ(HP)を担当することになりました。今回リニューアルした「藤沢エコネット」HPでは、毎月発行されますニュースを掲載しています。

216号(2015年5月)から閲覧できますのでぜひご覧いただけたいと思います。旧HPはもちろん、これから毎月、新しい情報もお伝えできるようにしますのでどうぞよろしくお願いいたします。(渡辺智恵子)



放射能測定値

11月中に測定 地上50cm
(HORIBA Radi) 単位(μSv/h)
(雨天)

辻堂北口バス乗場	0.037
明治市民センター前歩道	0.081
土打公園広場中央	0.041
土打公園アスファルト	0.066

(晴天)

湘南台小学校東側公園遊具下	0.038
〃 大木の下	0.042

(低放射能都市ふじさわをめざして)

ECNET INFORMATION

「電力自由化で何が変わるのか？」

かしこい新電力会社の選び方

12月6日(日) 14:00~16:30

藤沢労働会館 第2会議室 (資料代:200円)

・講師:吉田 明子氏(国際環境NGO FoE Japan
気候変動・エネルギー担当)

・新電力会社紹介(湘南電力(株)
(株)サニックス) ・討論
地産地消エネルギー藤沢市民の会



市民講座 地球温暖化と環境の変化

1月12日(火) 13:00-14:30

日本大学 4階 大講堂 参加費 無料

「気候変動と遺跡保存・中国敦煌莫高窟遺跡を例に」

「北極域の土や植物は温暖化を加速するのか？」

主催 日本大学生物資源科学部

NO2の一斉測定をします 12/3(木)~4(金)

大和 泉の森で探鳥会と忘年バーベキュー

12月20日(日) 9:00 大和駅北口改札に集合

持ち物 観察用具 飲物等 会費2000円

主催/申込み 藤沢探鳥クラブ 0467-52-9043 中村

藤沢エコネットから

◆会員募集=年会費・購読料→3000円

ゆうちょ銀行(9900) 店番(029)

当座預金 0046501 万ザエコネット

◆事務局会議 12月9日(金) 13:30~
市民活動推進センター

《編集後記》今年も年末やってきた。大ニュースはいろいろあったが、何ととっても9月に「安保法制」強行可決は寒気がするほどの衝撃だ。マイナンバーの郵送が届く一方、届かない郵便の山になったり、年金管理の不具合も報道された。マンション基礎工事偽装はやりきれない不快を感じる。藤沢では、相模縦貫道が開通し高速道路が、藤沢から県外行きへ大きく時間短縮、喜んでいいのか悪いのか迷う。(H)